

平成28年8月27日

平成28年8月20日からの大雨による災害対応について

～羅臼町地滑り被災地へ分解組立型バックホウを派遣しました～

平成28年8月24日に羅臼町海岸町で発生しました地滑り被害対応のため、釧路総合振興局釧路建設管理部からの要請を受け、北海道開発局の災害対策用機械（分解組立型バックホウ）を派遣しましたので、お知らせいたします。

派遣しました分解組立型バックホウは、二次災害のおそれがある現場において、ラジコン操作により安全な場所から災害復旧が行える「遠隔操作」も可能な機械となっており、熊本地震（阿蘇大橋崩落現場）で稼働したものと同型です（別紙参照）。

※作業現場での説明については、以下問合せ先（釧路開発建設部防災対策官）までお問合せ願います。



羅臼町崩落現場（H28. 8. 27）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局

事業振興部防災課 防災企画官 高橋 一浩（TEL 011-709-2311 ダイヤルイン）

札幌開発建設部 防災課長 岩崎 政司（TEL 011-611-0306 ダイヤルイン）

釧路開発建設部 防災対策官 福田 誠（TEL 0154-24-7364 ダイヤルイン）

分解組立型バックホウ

陸路による運搬が不可能な箇所において、応急復旧工事を効率的・効果的に行うため、バケット容量1.0m³級のバックホウに航空機による空輸が可能となるよう簡易分解・組立機構を付加した機械です。二次災害発生の危険性がある現場でも施工が可能となる無線遠隔操縦機能(ラジコン機能)や、建設施工の効率化・高度化を実現する情報化施工技術(マシンガイダンス)も搭載されています。



全景



各種アタッチメント（グラブ、ブ
レーカー）とコントローラー



遠隔作業状況

(中部地方整備局配置の同型機による作業)



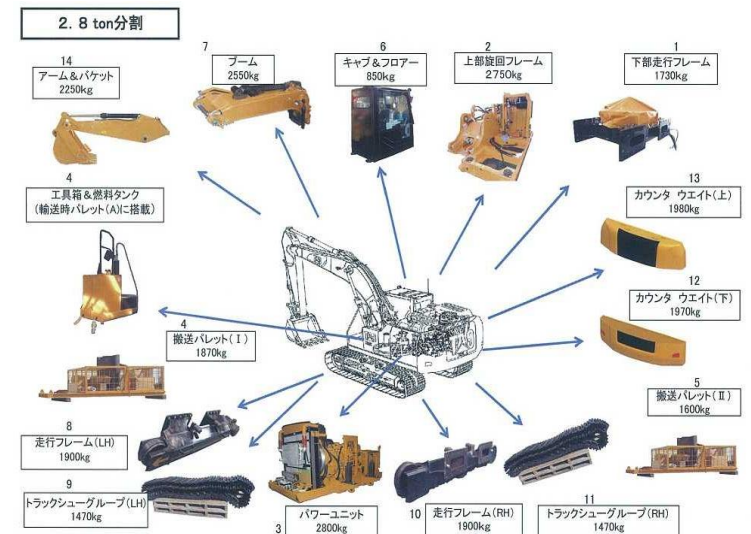
組立作業状況

(北陸地方整備局配置の同型機による作業)

●機械の主要諸元 (例)

- 全長：10.1m
- 全幅：3.0m
- 全高：3.3m
- 重量：26t
- バケット容量：1.0m³ (山積)

全道配備台数：1台 (H27.4月現在)



分解概要